

外国ジャーナリズムⅡa (2017) 春学期末レポートについて ver.1

2017/07/09

鈴木雄雅

レポート課題：

ヨーロッパ地域のジャーナリズム、マス・メディアについて（概況ではなく、
テーマを各自設定し、その選定、目的などを明示すること）

下記はテーマ例です。※これに限定するわけではありません。

1. ある1日の新聞紙面の国際報道（記事）の分析：1紙以上を選び、広告などを除いた全記事中、「国際記事（報道）」はどのくらいあり、どのような世界的偏差（国により関連記事の多少、記事内容の相違など）があるかを実証的に示したうえで、分析・考察を加える。

[注1] 最小単位は国別、発信場所別、内容（による分類）/特派員、通信社、デスク/写真など

[注2] 本数/件数（コラム cm 面積計算はしない）/記事内容を基礎に。

[注3] エクセルを使つてのデータ類は本文枚数にはカウントしない

2. ヨーロッパのメディアが重大事件をどう報道しているかを調べる。例1とは異なり、一つの事件に絞り、ある国あるいは複数国のメディアでの報道のされかたをみる。

3. ヨーロッパのある国または複数国（比較の対象として日本も含む）を対象に、ジャーナリズム、メディア機能（構造、制度、実態＝受け手論も含む）を調べる。

4. 150頁以上のヨーロッパのジャーナリズム、メディアに関する英文原書のブックレポート・レビュー [注1] 原著引用部には掲載頁を付記。

レポート作成、提出について諸注意

■ワープロソフト利用＝A4判（40×40行）×5枚程度、ファイル提出/表紙を付けること

■提出ファイル名には学生番号、氏名、タイトル（簡略化してもよい。科目名ではない）を必ず入れること。

■表紙＝科目名 表題（自分で考えたもの）、学生番号、氏名など

1枚目＝レポートテーマの設定、執筆動機、目的などを「はじめに」で書き（ここまでは上記の選択により内容は異なる）、本論にはいる。最後に、「まとめ」（考察）などをかく。

■巻末には参考文献を明示し、直接引用は注番号をつけて、出所を明示すること。インターネットからの引用もサイト名（URL）、アクセス日など基本データは必ず明示すること。

1を選択したものは、資料として集計データを添付（本文中は図表）

注意：いわゆる「コピー」「（他科目との）二重レポート」と判断されたものに関しては、その時点において単位の認定対象からはずします。

■その他 [レポート、アサイメント提出の基本\(2008年版\)](#)

締切日 7月28日（金）までにMoodleへアップロード